

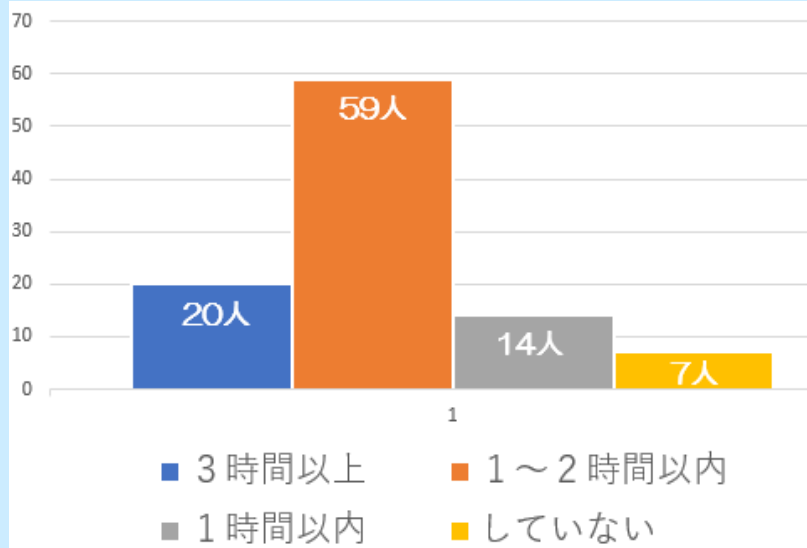
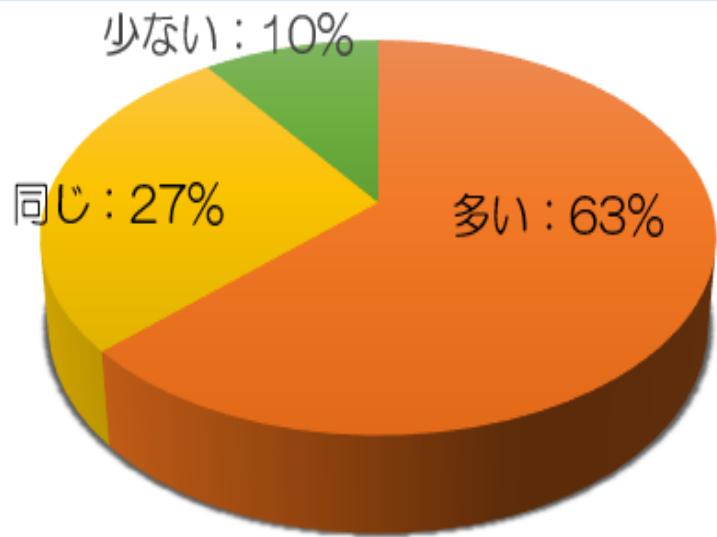


1 勉強時間が増えた63%

「IT短大での学び」(第1学年対象)に関するアンケート結果がまとまりました。勉強時間では、高校時代より勉強時間が増えた答えた学生が63%と、学習意欲の高さがうかがえる結果となりました。ここでご紹介する質問項目は、
Q1 高校時代と比較した学習時間について Q2 現在の勉強時間(家庭)です。

Q1 高校時代と比較した学習時間について

Q2 現在の勉強時間(家庭)



学生の声

○高校時代以上に学習することができている。



○高校よりもハードなスケジュールである。



○一日約10時間勉強している。

○もう少し学習時間を増やしたい。

○一日一日の勉強時間を大切にしています。

○毎日勉強する習慣が身についた。

○授業時間も多く、家に帰ってから復習している。

2 IT人材の育成が急務!



プラニク ヨゲンドラ副校長による講演風景

7月26日(火)、県立土浦第一高等学校のプラニク ヨゲンドラ副校長の講演があり「IT人材が不足しており、学校教育の中で即戦力のある人材育成が急務」と話されていました。

本学の果たすべき役割の大きさを感じた講演でした。

●言語力の重要性について

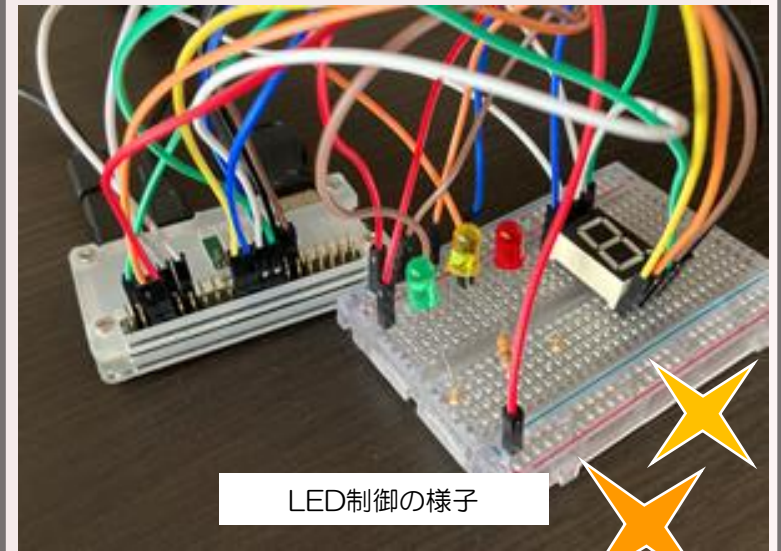
- ビジネスでは言語力が最大のツール。
- 専門技術の理解だけでは作業が捗らない。
- プロとしての話し方、十分かつ正しい情報を聞き出す力が必要。

4 制御技術を学ぶ先生方①!

7月26日(水)、27(木)に「産業教育(工業)研修講座」が実施され、高校の教職員13名が受講しました。

講座では、シングルボードコンピュータによるIoT(Internet of Things)実習が行われ、プログラミング言語「Python(パイソン)」によるLED制御が行われていました。制御基板は、高校でも広く活用されているRaspberry Pi(ラズベリーパイ)です。

受講した飯高大輔先生(下館工高)は「素晴らしい環境で、専門技術が学べて感謝しています」と話していました。



LED制御の様子



研修講座の実施風景

3 企業で役立てたい!



ステッピングモータを制御する学生

第二学年の「ロボット工学」では、ステッピングモータを専用の開発ボード(STM32)を使い制御(C言語)していました。久野慎之介さん(水戸桜ノ牧高卒)は、「制御方法をしっかり学び、就職する企業で役立てたい」と話していました。

実習で使用している「STM32ボード」 →



ITから
創造した
未来へ

